

2021（令和3）年度事業報告書

2021（令和3）年6月1日～2022（令和3）年5月31日

I 事業期間

2021年6月1日～2022年5月31日

II 事業の成果

2021年度当初実施方針

1. 0歳児から未就園児の親子への支援内容の充実を図る。
2. ポストコロナを描きながら、新型コロナウイルス感染対策下での支援を検討する。
3. 組織基盤を確立するため、組織体制を見直し会員と活動拡大を図る。
4. 各事業間の連動と発展、他の市民活動や関係機関との連携を図る。

<総括>

新型コロナウイルス感染症の影響は当初の想定より大きく、1学期開始当初から9月に至る自粛で、人の集まりは時間や人数の制限を設けることでようやく開催を維持した。今宮のはんもっくのおうちは、WAM助成を受けて開催を継続できたが、参加者数は少なく、呼びかけることも控えて、活動内容の検討が主体となった。一方で、乳幼児親子の中で出会いの機会が少ないことに危機感を持つ人も現れ、サークルの中には工夫して活動を継続し出会いの場を確保したところも認められた。

地域親子クラブ「トントン」では、外遊びを中心に活動し、一定の参加があり、誘い合わせての参加も見受けられた。室内遊びは、参加者数が増えなかった。昨年度活動を停止したサークルの場を引き継いで、「なかよしづくり」を開催したが、今年度はほとんど参加がなかった。

今年度の大きな活動として、子育てMAPみのお改訂作業があり、Vol.9を編集・発行した。

箕面東高校の触れ合い授業はコロナ禍の影響で中止も多く開催数は限られたが、高校・参加者・スタッフも逆に改めて意義を認識した。

2020年度に開始した0歳児対象の親子支援活動では、「はんもっくのおうち」への参加者は少なかったが、0歳児への関わり方など支援のあり方の検討が進んだ。箕面市教育委員会すこやか室・子育て支援センター・社会福祉協議会との連携が深まった。産後の受け入れ体制に関する調査や、「赤ちゃんを応援する人集まれ」など、市内全体を視野に入れた活動を開始した。

インスタグラムでの発信を開始し、ホームページも多少修正した。幼稚園案内冊子作成は、対面で話を聞く幼稚園が減り、郵送等の情報収集が増えた。

2019年度まで開催していた幼稚園ママ座談会・夏の遊ビバ・箕面市内小中学校福祉ボランティア体験授業・PTA応援団の活動・大学生と遊ぶ・着物くらぶ・運動部は、開催できなかった。今年度は、WAM助成など3つの助成（後述）を受け、第30回コープこうべ虹の賞を受賞した。

III 事業の実施状況

1 子育て・家庭教育支援事業

(1) 子育てサークル支援事業

3サークルを対象に出前企画を行った。活動維持に貢献していると感じるが、人数が減少し運営が難しいサークルを維持するには力不足で、1サークルは活動を停止した。一方、地域に集う場所を作ろうという活動も出て、サークルラインへの参加やオンライントントンの配信などを呼びかけた。

サークル交流会は、年2回オンラインで行い、一定の情報交換はできたが、議論を深めるのは難しかった。グループラインでその他の連絡や情報交換を行った。

子育てMAPみのお改訂のため、8回の会議開催を含め内容を検討し、Vol.9を編集発行した。1500部作成し、箕面市内子育て支援センター・すこやか室・市民活動センター等で配布した。

1. 子育てサークル支援事業

月日	活動内容	活動回数	のべ人数			1回平均		
			スタッフ	参加子ども人数	参加組	スタッフ	参加子ども人数	参加組
6月～5月	出前企画	16	40	133	115	2.5	8.3	7.2
6月～5月	なかよしづくり	13	41	24	12	3.2	1.8	1.0
10月・3月	交流会	2	4	4	4	2	2	2

出前企画の様子



(2) 地域おやこクラブ事業

コロナ感染対策のため公園での外遊びを主に行ない、月1回と冬期は、tomotom おのはらは地域多世代交流センターで、tomotom ライフプラザと tomotom あびたはグリーンホールで開催した。昨年度と参加者数を比較すると、外遊びでは少しずつ増え室内は増加しなかった。体育館で遊ぶのは、稲スポーツセンターと武道館で各月1回開催し、昨年度より参加者数は増加した。

オンライントントンはZOOMを活用し、長期休暇を除く毎週1回開催した。リピーターは、第2子出産後のきょうだいの参加や転居後の遠隔地からの参加などもあった。5月から録画配信も行い、参加者数は減ったが、サークルで活用しているという声も届いている。

Linkle は、小野原多世代地域交流センターと箕面文化・交流センターで各月1回開催した。
*オンライントントンは箕面市民活動支援金（夢の実支援金）、リンクルはWAM助成を受けた。

2. 地域おやこクラブ事業

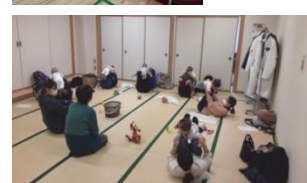
月日	活動内容	活動回数	のべ人数			1回平均		
			スタッフ	参加子ども人数	参加組	スタッフ	参加子ども人数	参加組
6月～5月	トントン小野原室内	10	44	50	26	4.4	5.0	2.6
6月～5月	トントン小野原外遊び	21	84	146	112	4.0	7.0	5.3
6月～5月	トントングリーンホール	12	54	60	32	4.5	5.0	2.7
6月～5月	トントンらいふぷらざ	14	69	135	102	4.9	9.6	7.3
6月～5月	トントンあびた	5	22	41	30	4.4	8.0	6.0
6月～5月	トントンジャンプ武道館	11	61	130	92	5.5	11.8	8.4
6月～5月	トントンジャンプ稲体育館	10	60	175	136	6.0	17.5	13.6
6月～5月	オンライントントン	40	264	254	122	6.6	6.4	3.2
6月～5月	リンクル	19	47	51	49	2.5	2.7	2.6



↓トントングリーンホール



↓ジャンプ稲



トントン小野原

トントンらいぷら

ジャンプ武道館

リンクル

(3) 世代間交流事業

箕面東高校生命の授業は、コロナ感染対策のため、授業は3回、準備作業2回のみ行った。参加希望者からの問い合わせはあったが積極的な呼びかけはできず、残念な1年であった。数回の開催でも、参加者や高校生は楽しみにしていて、意義を感じた。

小中学生の福祉ボランティア体験授業は、今年度も開催されなかった。

3. 世代間交流授業

月日	活動内容	活動回数	のべ人数			1回平均		
			スタッフ	参加子ども人数	参加組	スタッフ	参加子ども人数	参加組
6月～5月	箕面東高校交流授業	5	18	21	11	3.6	4.0	2.2



高校：触れ合い体験授業



(4) 地域交流事業

コープこうべのコープクラブ「ここにこプラス」のスタッフ派遣は、月1回計11回開催した。

子ども用品リサイクルも行ったが、参加者数は伸びなかった。コープクラブ「ここにこプラス」「子育て応援団はんもっく」では、コープこうべから絵本の提供をいただいた。

4. 地域交流事業

月日	活動内容	活動回数	のべ人数			1回平均		
			スタッフ	参加子ども人数	参加組	スタッフ	参加子ども人数	参加組
6月～5月	ここにこ広場	11	48	33	13	4.4	3.0	1.3

「赤ちゃんを応援する人集まれ！」で、2月7日と14日はオンライン講座を開催し、14名・12名の参加があった。さらに、5月には講師による講座開催を行ない、17名の参加があった。



←2月オンライン講座

↓5月16日 竹内華子先生の講座



(5) 産前産後親子の居場所事業 WAM 令和3年度社会福祉振興助成事業

WAM 助成を受け、助産師スタッフと共に今宮の新規拠点戸建の家「はんもっくのおうち」で産後の親子の集いの場を開催した。年度当初4月～9月の自粛期間の影響は大きく、参加者数は低迷した。今年度新企画のお誕生日会も、呼びかける参加者が少なく、5月以後少しずつ増加している。

オンラインでの相談やトークは継続し、利用者は少ないが、活用された。

5. 産前産後親子の居場所事業

月日	活動内容	活動回数	のべ人数			1回平均		
			スタッフ	参加子ども人数	参加組	スタッフ	参加子ども人数	参加組
6月～5月	街の実家	182	1108	307	243	6.1	1.7	1.5

おうちでの各企画の参加者

オンライン	お誕生日会	おっぱい マッサージ	個別相談	離乳食講座	ヨガ	ベビーマッ サージ	赤ちゃん 体操	2・3か月児 集まれ	きょうだい 集まれ	お昼寝	訪問
26	14	11	9	6	14	7	2	1	1	1	1



(6) 産後ケア事業

令和4年4月から、箕面市の産後ケア事業を受託し、5月以後受け入れを開始した。

(7) 保護者の交流と学び促進事業 幼稚園入園情報冊子作成

座談会は開催を断念した。幼稚園入園情報冊子は作成し、配布した。

(8) PTA 応援団・小学生支援事業

要支援児保護者の会「ゆうやけの会」役員を対象にアンケートを行ない、会を紹介するパンフレットを作成した。

小学校での活動は、コロナ感染対策のため開催されなかった。PTA 活動も関わりがなかった。

(9) 特技活用相互支援 ヨガは、(5)の事業の中で行なった。

(10) 和文化掘り起し 今年度は開催しなかった。

2. 子育てに関する情報収集及び発信事業

(1) はんもっくのホームページの活用 「箕面市民活動センター 夢の実支援金助成」対象事業

はんもっくのホームページの内容の整理、充実を図った。

(2) 子育て家庭を訪問できる支援について、リストを作成し、ホームページに掲載した。

3. 人材育成・教育研究事業

(1) 人材育成講座

スタッフを対象に、ZOOM も活用した講座を5回開催し、各46名が参加した。12月には助産師を対象に、外部講師に依頼して実践講座を開催した。

月日	タイトル	スタッフ	助産師	外部	参加者計
9月10日	産後ケアの取組み	5	1		6
10月22日	丸抱っこの方法	7	1		8
11月22日	ボランティアを考える	5			5
12月16日	抱っこ・だっこヒモの使い方	1	4	2	7
3月7日	助産師の役割	12	1		13
3月14日	専門職と地域人材	14			14
参加人数合計		44	7	2	53

(2) 調査研究事業

9/1～11/30 産科医療施設と助産院計4施設に依頼し、産科退院前の母に入力フォームQRコードを記載した用紙を配布し、ネットアンケートを施行。配布数199、回答数43、回収率は21.1%。報告書を作成した。

4. 講座及び研修事業

(1) 子育て講座講師派遣・紹介事業

箕面子育て支援センター・西宮市と神戸市のファミリーサポートなどの子育て・子育て支援に関する講座計14回、8月には箕面市市議会議員研修に講師を紹介した。

※運営に関して

はんもっくのおうちとWEBの併用にて、定例会を計11回開催し、のべ127名(平均11.5名)が参加した。

総会開催：2021年7月12日に、はんもっくのおうちとオンライン併用で第9回定期総会を開催し、4議案の承認を得た。

理事会開催：2022年1月22日に、オンラインで開催した。理事6名、監事1名が参加し、活動内容の承認を得た。

※助成金に関して

令和3年度社会福祉振興助成事業(WAM)通常助成、2021年度箕面市民活動支援金(夢の実支援金)、令和3年度箕面市社会福祉協議会赤い羽根共同募金 箕面市地域支え合いプロジェクト助成金を受けた。また、第30回コープこうべ虹の賞を受賞した。